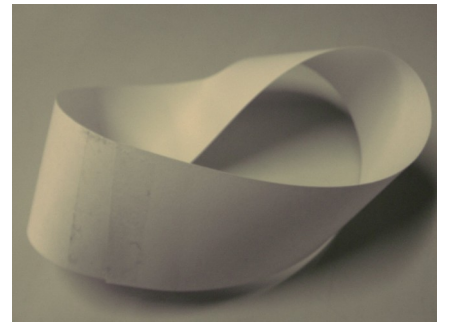
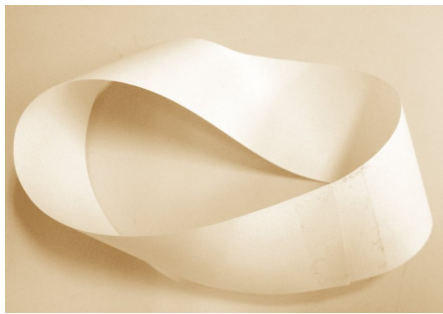


# 実定法学の基礎法学



2010年7月10日(土)

13:00—17:30

日本学術会議講堂



主催

- ・基礎法学系学会連合(日本法社会学会、日本法哲学会、比較法学会、法制史学会、比較家族史学会、民主主義科学者協会法律部会)
- ・日本学術会議法学委員会

開会挨拶 滝澤正(上智大学大学院法学研究科教授・日本学術会議連携会員)

## 第1部 報告(13:05~16:00)

司会:奥山恭子(横浜国立大学大学院国際社会科学研究所教授)  
小森田秋夫(神奈川大学法学部教授・日本学術会議連携会員)

趣旨説明 水林彪(一橋大学大学院法学研究科教授)

報告Ⅰ 小川浩三(桐蔭横浜大学法務研究科教授)

「法学の学問性——比較法学史の観点から」

報告Ⅱ 会沢 恒(北海道大学大学院法学研究科准教授)

「法をめぐる言説と法形成過程——現代アメリカを参照して」

報告Ⅲ 尾崎一郎(北海道大学大学院法学研究科教授)

「法に関わる主体の社会的条件」

## 中間討論

報告Ⅳ 吉田克己(北海道大学大学院法学研究科教授・日本学術会議連携会員)

「法教義学の性格とその現代的意義——フランス・モデルを念頭に置きつつ」

報告Ⅴ 西谷 敏(大阪市立大学名誉教授)

「法発展における裁判と法解釈学——労働法の立場から」

報告Ⅵ 亀本 洋(京都大学大学院法学研究科教授)

「難事件における法的思考の特徴——利息制限法判例を素材にして」

## 第2部 総合討論(16:00~17:30)

司会 榊澤能生(早稲田大学法学学術院教授・日本学術会議連携会員)  
小森田秋夫(神奈川大学法学部教授・日本学術会議連携会員)

閉会挨拶 広渡清吾(専修大学法学部教授・日本学術会議会員・第1部部長)